



サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、 それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。 小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

なくならない猫の殺処分



■ 課題の現状/経緯/影響

- 2021年度に日本での猫の殺処分数は11,000匹で、年々減ってはいるが犬の2,700匹の4倍にもなる。
- 猫の性成熟は生後6ヶ月と早く、年に3~4回の出産が可能なほど繁殖力が高いため、管理されない野良猫が生息する地域で簡単に増殖してしまう。
- 動物保護管理センターは猫を引き取り動物愛護団体と連携して譲渡に尽力しているが、子猫は24時間 態勢で対応が必要など**負担が大きく限界がある**。

■ 全国の犬・猫の殺処分数の推移

出典:環境省

■猫の繁殖力



出典:環境省

▶NEXT:京都市「まちねこ活動支援事業」で野良猫が5年で半減

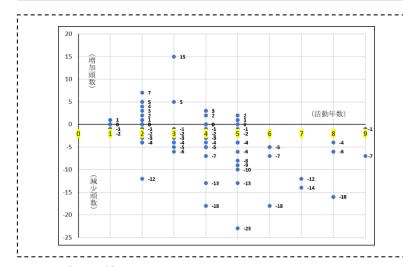
京都市「まちねこ活動支援事業」で野良猫が5年で半減



■ 実行者/解決方法/残る課題

- 動物保護に力を入れている京都市では、地域住民の理解と協力を得ながら野良猫に一代限りの命を 全うさせる活動を行っている。
- 2010年から地域住民が活動グループを作って給餌やトイレを管理し、市が費用を全額負担して去勢避妊手術を行う。2020年までに活動地域は19地域から147地域まで増加。野良猫が5年で半減し、10年で殺処分数は1,000匹以上減少した。
- 参加者は年配の女性が多く活動層に偏りがあることから、継続があやぶまれてしまうのではないか。

■ 各地域の活動年数と猫の頭数の変化を示す散布図



出典:京都市情報館

■ まちねこ活動の案内



出典:京都市情報館

▶NEXT: 地元の企業を巻き込み若い世代が主体者に

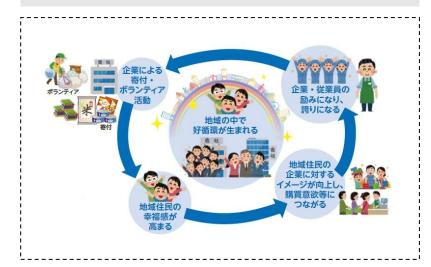
地元の企業を巻き込み若い世代が主体者に



■ 弊害の原因/理想/企業施策

- 毎日決まった時間に給餌をしたり食べ残しを片づけたり、1日2回トイレ清掃するなど、**労働世代が参加するには時間を作ることが厳しい**。
- 日中働いていたり時間に余裕が無くても、猫好きな人が意欲をもって参加できる状態が理想。
- 地域猫活動は社会貢献への姿勢を示すだけでなく、**顧客からの信頼強化や新たな人材獲得などにより** 持続可能な経営に繋がるという視点を持ち、企業が業務の一環として取り組むことが期待される。

■ 地域での社会貢献活動



出典:大田区社会福祉協議会

■ 餌を食べる地域猫



出典:福井新聞ONLINE

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

■ 参照・引用資料

- 環境省,「犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況」,2023年5月11日参照 (https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2_data/statistics/dog-cat.html)
- 環境省,「もっと飼いたい?」,2024年1月26日参照(https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/aigo/2 data/pamph/h2305a.html)
- 福岡市,「地域猫活動について」,2023年5月17日参照(https://jspca.or.jp/localcat.htmlf)
- 京都市情報館,「各地域の活動年数と猫の頭数の変化を示す散布図」,2020年12月2日 (https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000277536.html)
- 京都市情報館,「リーフレット「まちねこ活動始めませんか!」」,2017年12月21日
 (https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000189/189400/tirasi.pdf)
- 大田区社会福祉協議会,「社会貢献活動・CSR活動(企業、法人の皆さまへ)」,2023年5月14日(https://www.ota-shakyo.jp/cooperation/csr)
- 福井新聞ONLINE,「野良猫減らす地域猫活動…最大のハードルは住民の理解 餌やりや糞尿掃除にもルール必要【杉本彩のEva】」,2021年9月11日 (https://www.fukuishimbun.co.jp/articles/-/1395226)

■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は小川電機株式会社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。